

気になったから 勝手に調べたブログ

8月号



第16回 「100年続くラジオ体操、実は3代目？」

ラジオ体操は、1920年代にアメリカのメトロポリタン保険会社が「ミンナケンコーニナレバ ケイヤクキング ナガクモラエマース」(多分こんな感じ)・・・それは置いていてラジオを使って健康体操を放送したのが始まりだと言われています。

これを視察した逓信省簡易保険局(現在のかんぽ生命)の職員が日本に持ち帰り、1928年に日本版のラジオ体操が誕生しました。国民全体の健康づくりが目的でしたが、いつの間にか「ラジオ体操=夏休みの朝」というイメージが定着しました。

・・・思えば冬休みも春休みも無かったような？俺の所だけ？
それはそうと、最近はラジオ体操がないようなので甥達に聞いてみると、「そんなの知らんばい」と(-_-;)

夏休みのラジオ体操がへった理由



あの頃の夏休み



体操も大切だと思いますが、私はラジオ体操の前後の時間も特別だったと思います。眠たい目をこすりながら集まって、体操が終わると「今日遊ぼうや!」「どこ行くよ?」と、その日の予定を話し合ったりと、学校で会う友達とは何か違う、特別な時間でした。また、高学年・低学年や近所の人と顔を合わせたり話したりする機会もありました。何気ない触れ合いが減ったことも、地域コミュニティの希薄化や少子化問題に大いに影響していると私は思います。

これも時代に合わせた変化だと、寂しさを覚え、頬をつたう、熱い何かを感じました。

※一部フィクションが含まれています(^_^;

日本での、ラジオ体操の歴史

- ・ 1928年にラジオ体操は始まりました
- ・ 1946年に2代目に
- ・ しかし2代目は動きが難しく覚えにくく、1951年に現在の3代目にバトンタッチ

実は、今行われている体操は3代目なんです。もし4代目が変わったら、俺は、覚えられない自信しかない!



次回は「暑いとなぜ疲れる？」